

## 第3章 進捗管理と管理指標

本計画では、具体的方策に掲げた取組のうち主なものについて取組個票を作成し毎年度進捗状況等を確認してきましたが、管理指標の多くは、2021（令和3）年度をゴールとする短期目標値でした。

そこで、事業・取組の進捗状況や社会情勢の変化等に柔軟に対応するため、静岡県の新ビジョン後期アクションプランと整合を図りながら本章を見直し、2022（令和4）年度以降の静岡県緑化推進計画（後期取組目標）として策定します。

### 1 新たな社会情勢の変化（令和3年度）

#### (1) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

SDGs（持続可能な開発目標）では、全ての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、誰も置き去りにせず、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するための取組を進めることを各国に求めています。日本も「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済・社会・環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」ことが必要とされています。

SDGsの理念に基づき、本県においても持続可能な社会を構成するため、環境教育・環境学習の機会の提供や、緑化を通じた地域活動の核となる人材の育成に取り組んでいきます。

#### SDGs（持続可能な開発目標）

持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、2030年に向けて、全ての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められている。



## (2) 深刻化する地球規模の環境問題への対応

近年、地球温暖化を要因とする気候変動は、記録的な豪雨や猛暑、干ばつや海面上昇など、国内外で深刻な影響をもたらしています。

こうした中で、政府は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、各計画及び戦略の見直しを加速させ、国を挙げて脱炭素社会の実現に取り組んでいくことが示されました。

後期取組では、脱炭素に向けたライフスタイルの変化に対応するため、公共的な場における緑化、緑あふれる自然環境の形成を一層進めていくことが必要であり、こうした取組はヒートアイランド現象の抑制にも貢献します。

また、花育や森林環境教育、棚田保全等を通じ、県民が地域の自然環境について考える機会を提供し、環境問題に取り組んでいきます。

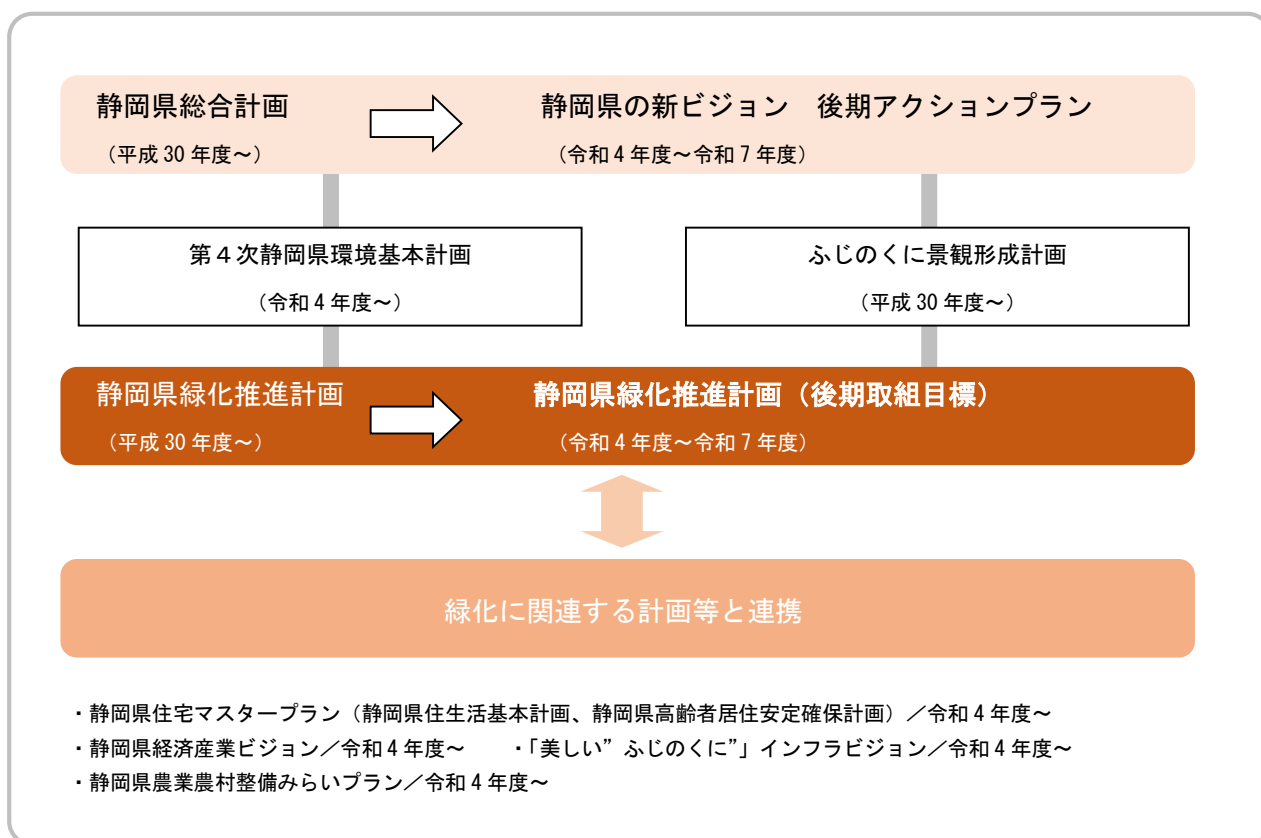
## (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の意識やライフスタイルが変化中、癒やしや安らぎをもたらす身近な花や緑の重要性が再認識されています。

このため、後期取組では人々の価値観の変化に対応し、住み続けたいと思える環境づくりを目指し、生活と自然が調和する豊かなくらし空間の創出や良好な景観の形成に取り組んでいきます。

## 2 計画期間

本計画の計画期間は、2018年度（平成30年度）から2027年度（令和9年度）までの10年間としていましたが、静岡県の新ビジョン 後期アクションプランに合わせ、残り6年間の計画期間を、2025年度（令和7年度）までの4年間で前倒しして完遂することを目指します。



### 3 進捗管理

具体的方策に掲げた取組のうち主なものについて、取組個票を作成し進捗を管理する。

取組個票を作成する、主な取組の一覧を以下の表に示す。

取組の内容、スケジュール等については、事業・取組の進捗状況や上位計画、関連する計画の策定（改定）、社会経済情勢の変化等に柔軟に対応し見直していくため、本編とは分けて作成する。

基本施策	No	取組名	担当課/団体	目標 又は 評価方法
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーンバンク	花づくりや緑化活動に多くの県民が携わり、公共的な施設等に花と緑のある安らぎの場を提供するため、緑化資材の提供を毎年度4,000団体に実施することを目指す。
	2	花の都づくり	農芸振興課	花の魅力の発信や花に触れる機会を創出するため、花緑出張サービス等で実施する花育講座の受講者数を毎年度2,400人となることを目指す。
	3	花育活動（寄せ植え）	静岡県グリーンバンク	緑化活動の重要性と命の大切さを子どもたちに醸成するため、幼稚園等が実施する花育研修においてアンケート調査を実施し、効果をはかる。
	4	【R3～取組名変更】 里山学習施設の管理運営 及びプログラムの提供	環境ふれあい課	県民が自然と気軽にふれあう機会を創出するため、自然ふれあい施設における自然体験プログラムを毎年度180回実施することを目指す。（管理指標）
	5	森林環境教育プログラムの提供		※取組番号④と統合
	6	しずおか棚田・里地 くらぶ	農地保全課	しずおか棚田・里地くらぶによる棚田保全に係る意識啓発や、活動への参画を促す取組により各棚田保全活動への支援の輪を広げ、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。（管理指標）
	7	ふじのくに色彩・ デザイン指針	景観まちづくり課	ふじのくに色彩・デザイン指針に基づく高質な公共施設整備を推進するため、研修会への参加市町数により評価する。
	8	豊かな暮らし空間創生	住まいづくり課	一定の基準に達した住宅地を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定する。令和3年度の認定区画数は329区画であり、令和7年度までに600区画を目指す。（管理指標）
	8-2	【R1～追加】 安全で美しいいなみ 整備		
	8-3	【R3～追加】 みどりの住環境整備事業		
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、 管理支援	静岡県グリーンバンク	普及支援は、芝生化した園庭・校庭数（管理指標）で評価する。管理支援は、芝生管理活動支援事業の継続により毎年度30団体を支援することを目指す。
	10	芝生アドバイザーの育成・ 活用	静岡県グリーンバンク、 芝草研究所	芝生の適切な維持管理を支援するため、芝生に関する講座の修了者数とともに、芝生アドバイザー派遣箇所数（管理指標）により評価する。また、受講者や専門家の派遣を受けた園、施設等にアンケートを実施し、効果をはかる。
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	身近で使いやすい芝生を普及するため、研究成果の活用を進め、芝生化した園庭・校庭数（管理指標）により評価する。
	12	工場緑化セミナー	企業立地推進課	本県の工場緑化に係る理念を浸透させるため、工場緑化セミナーの参加者にアンケートを実施し、理解度を測る。
	13	県営都市公園の指定管理 による芝生の良好な維持	公園緑地課	施設利用にあたって芝生の快適な状態を維持するため、芝刈りの回数など維持管理に関する年間計画を立て、達成状況により評価する。

基本施策	No	取組名	担当課／団体	目標 又は 評価方法
(3) 花と緑によるおもてなし空間の創造	14	【R3完了】花と緑のおもてなし空間整備支援	静岡県グリーンバンク	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けての取組であり、令和2年度の実績(8箇所)で短期目標値(7箇所)を達成したため事業完了とする。本取組で整備したおもてなし空間は、緑化グループ支援事業を活用し、地域のボランティア団体が継続的に管理ができるように支援する。
	15	公共施設の緑化(県庁本庁舎)	資産経営課	季節感のある庁舎の演出を図るため、農業高校・農林環境専門職大学と連携して庁舎内や窓辺にプランターや寄せ植え鉢を設置し、その実施回数・実施時期により評価する。
	15-2	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)	文化政策課	良好な緑化環境を維持するため草木等の適切な維持管理を行い、利用者アンケートの満足度により評価する。
	15-3	公共施設の緑化(日本平夢テラス)	観光政策課	国内外からの観光客を迎えるのにふさわしい庭園空間を維持するため草木等の適切な維持管理を行い、緑化に関する来館者意見(1階インフォメーションに常設)により評価する。
	16	県立森林公園アカマツ林再生	環境ふれあい課	県立森林公園のシンボルであるアカマツ林の再生、保全を図るため、ボランティアによる保全活動の実施状況(回数、参加人数)により評価する。
	17	【R1完了】多様な森林景観づくり	森林整備課	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けての取組であり、令和元年度で事業による整備は完了。今後は、これまでに蓄積した森林景観整備の手法を生かしながら整備を実施していく。
(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信	18	さくら愛護思想普及の推進	静岡県さくらの会	県民が桜に親しむ機会を増やすため、静岡県さくらの会のホームページを充実させ、アクセス数により評価する(管理指標)。アクセス数は継続的に記録し、年ごとの傾向と桜への関心度の変化を分析して情報発信に生かす。
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	さくらの保護育成に関する意識向上を図るため、さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業を実施し、派遣を受けた個人・団体からの声により意識の変化、満足度を評価する。
	20	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール 【R3～追加】花育活動の推進	農芸振興課	(令和4年度コンクールは実施しない。)県内における花の都づくりを広く展開するため、地域や企業における花の利活用や、学校等における花育活動を推進。花緑出張サービスで実施した花育講座の受講者数により評価する。(管理指標)
(5) 社会総がかりの緑化活動への参加促進	21	しずおかアダプト・ロード・プログラム	道路保全課	快適な道路空間を創出するため、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援し、活動道路延長、活動人数により評価する。
	22	リバーフレンドシップ制度	河川企画課	「みんなの川」を「みんなで作っていき」意識を高め、身近な河川の治水や環境保全に関する意識啓発を図るため、制度活用による保全活動の実施状況(団体数等)により評価する。
	23	ふじのくに美農里プロジェクト	農地保全課	多様な主体の参画等を得ながら活動の持続性を確保するため、「ふじのくに美農里プロジェクト」を含めた「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。(管理指標)
	24	一社一村しずおか運動	農地保全課	「企業」「農村」双方の意識の醸成と取組の拡大を図るため、ウェブサイトを通じて先駆的な優良事例を紹介。「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」全体の参画者数として、毎年度2,400人増を目指す。(管理指標)
	25	森づくり県民大作戦	環境ふれあい課	県民が森林を守り、育て、活かす行動を実践する機会を提供するため、森づくり県民大作戦に毎年度28,000人参加してもらうことを目指す。(管理指標)
	26	しずおか未来の森サポーター	環境ふれあい課	企業の社会貢献活動やSDGs達成の取組を森づくりにつなげるため、しずおか未来の森サポーターに累計144社の登録を目指す。
	27	ふじのくに森の防潮堤づくり	森林保全課	防潮堤への理解促進と植栽木の管理等への協力意識の醸成を図るため、地域住民や地元企業による植樹祭等を実施し、参加者からの声から防潮堤への理解度や協力意識の変化を評価する。
	28	【R3～追加】緑化グループ支援事業	静岡県グリーンバンク	自立した緑化活動の推進と地域コミュニティの形成を支援するため、毎年度140団体を支援することを旨とする。
(6) 緑化活動の核となる人材の育成	29	緑化コーディネーターの育成・活用	静岡県グリーンバンク	地域における緑化活動の核となる人材を育成するため、緑化コーディネーター養成講座の修了者数の累計人数を令和7年度までに390人にするを旨とする。修了者にはアンケートを実施し、活用状況の評価する。

## 4 管理指標

緑化施策の進捗管理を行うために、次のとおり管理指標を設定する。

### ①花と緑を慈しむ文化の創造

目 標	中間評価	短期目標値 (現行)	目標の見直し	後期目標 (新目標)	(参考)総合計画後期AP		担 当
	2020/R2	2021/R3		2025/R7	成果指標	活動指標	
自然ふれあい施設における自然体験プログラム実施回数	141回	毎年度 160回	→ → →	毎年度 180回	—	○	環境 ふれあい課
豊かな暮らし空間創生住宅地の区画数	累計 314区画	累計 400区画	→ → →	累計 600区画	○	—	住まい づくり課
芝生が適正に維持管理された園庭・校庭数	累計 23箇所	累計 25箇所	芝生文化創造プロジェクトで芝生化した 園庭・校庭数	96箇所	—	○	環境 ふれあい課
複数の園庭・校庭に芝生を導入している 市町数	18箇所	(2027年 度) 35市町	→ → →	35市町	—	—	環境 ふれあい課
グリーンバンクで支援している緑化活動団 体数	187団体	200団体	地域の緑化活動団体数	累計 300団体	○	—	環境 ふれあい課
緑化コーディネーター、芝生アドバイザー 派遣箇所数	71箇所	65箇所	→ → →	80箇所	—	—	環境 ふれあい課
緑化優良工場としての受賞件数	累計 85件	(2027年 度) 累計80件	→ → →	累計 80件	—	—	企業立地 推進課

### ②花と緑による地域の魅力向上

目 標	中間評価	短期目標値 (現行)	目標の見直し	後期目標 (新目標)	(参考)総合計画後期AP		担 当	
	2020/R2	2021/R3		2025/R7	成果指標	活動指標		
おもてなし空間整備箇所数	8箇所	7箇所	→ → →	—	—	—	環境 ふれあい課	
静岡県さくらの会ホームページアクセス数	341,127回	毎年度 450,000回	→ → →	毎年度 450,000回	—	—	環境 ふれあい課	
県主催花緑コンクールの応募件数	75件	120件	花育活動受講者数	毎年度 2,400人	—	○	農芸振興課	
参考 指標	全国花のまちづくりコンクール 受賞件数	累計 122件	累計 195件	→ → →	累計 195件	—	—	環境 ふれあい課
	市町主催花緑コンクールの応募 件数	408件	700件	→ → →	700件	—	—	環境 ふれあい課

### ③社会総がかりの緑化活動

目 標	中間評価	短期目標値 (現行)	目標の見直し	後期目標 (新目標)	(参考)総合計画後期AP		担 当
	2020/R2	2021/R3		2025/R7	成果指標	活動指標	
森づくり県民大作戦参加者数	11,898人	毎年度 28,000人	→ → →	毎年度 28,000人	○	—	環境 ふれあい課
ふじのくに美しく品格のある邑づくり 参画人数	73,058人	80,000人	ふじのくに美しく品格のある邑づくりの 参画者数	87,600人	○	—	農地保全課
しずおか未来の森サポーター企業数	134社	136社	→ → →	144社	—	○	環境 ふれあい課
緑化コーディネーター養成講座開催回数	1回	毎年度 3回	緑化コーディネーター養成講座修了者数	累計 390人	—	○	環境 ふれあい課

